

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 教育環境整備を	先般、公共施設配置案が示されました。役場、小
	学校、中学校などは平成 30 年 4 月、生涯学習センタ
	ーは平成 30 年 10 月供用開始が予定されています。
	11 月 23 日、いのちの石碑除幕式がありました。
	大震災から 2 年 9 カ月、子どもたちの活躍ぶりは、
	私たちに感動を与えています。
	震災により、厳しい教育環境であります。子ど
	もたちの教育活動を支えるには、先生、地域、行政
	の支援が不可欠です。教育委員会として、教育活動
	を積極的に支えている事は評価したいと思います。
	震災以降、子どもたちの減少が続いています。学
	校は将来、移転計画もありますが、現在、学んでい
	る子どもたちのために、教育環境整備を積極的に改
	善する事も必要なことではないでしょうか。
	そこで伺います。
	(1) 小学校のトイレ改修、小・中学校グラウンド
	に夜間照明設置「軽装備」について。
	(2) 学校給食は子どもたちの成長に欠かす事はで
	きません。震災以降、学校給食費の減免割合は
	どうなっていますか。全員の給食費を期間限定
	で無償化する事を検討すべきと思いますが。

質 問 者 酒 井 孝 正

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 商業、業務エリアの工事進捗状況について	(質問の相手：教育長・担当課長)
	震災から2年9カ月、一つ一つではありますが、
	確実に復興事業が進捗していると思います。女川町
	中心部区画整理事業が始まりました。特に平成27
	年3月、女川駅開業に向けて、商業、業務エリア整
	備事業が進捗中です。
	そこで伺います。
	(1) にぎわい拠点は、平成26年秋頃より建築着工
	が可能予定となっていますが、土地造成工事の
	進捗に遅れはないですか。
	(2) 復興推進課に女川駅開業まで473日「12月3
	日現在」という看板が表示されています。町民
	にとっては待ち遠しい日です。仮称まちづくり
	拠点施設は27年秋頃開業予定となっています。
	「生涯学習センター」が30年以降となる事
	から、まちづくり拠点施設整備が急がれます。
	施設機能例は示されていますが、まちづくり拠
	点施設を27年春頃に前倒し開業する事は、今の
	進捗状況からみて可能でしょうか。
	(質問の相手：町長・担当課長)